

## 特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター 2023 年通常総会

開催日時：2023/05/13, 15:15-16:45

開催場所：札幌市北区北 8 条西 3 丁目 エルプラザを会場とし、定款第 28 条によりオンラインでの出席も可とする

開催目的：定款第 22 条に定める総会議決事項を審議し議決すること

総会次第：

開会

理事長挨拶

議長ならびに議事録署名人の選出（議長候補：松田，議事録署名人候補：岡，岩間）

審議

第 1 号議案 2022 年度事業報告および決算

第 2 号議案 2023 年度事業計画および予算

第 3 号議案 2023 年度役員選任

その他

閉会

- 特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センターの 2022 年事業年度は 2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までである。
- 総会開催日における会員数は以下の通りである。正会員 18，一般会員 20，院生・学生会員 1，賛助会員 1。全会員数 40 である。
- 定款第 26 条により，正会員総数の 2 分の 1 以上の出席により総会は成立する。
- 定款第 27 条により，総会の議事は，この定款に規定するもののほか，出席した正会員の過半数をもって決し，可否同数のときは議長の決するところによる
- 定款第 28 条により，IT・ネットワーク技術を活用することによって，正会員はオンラインにより総会に出席し表決することができる。
- 定款第 28 条により，総会に出席できない正会員は，あらかじめ通知された事項について書面若しくは電子メールをもって表決し，または他の正会員を代理人として表決を委任することができる。この規定によって表決した正会員は総会に出席したものとみなす。
- 2022 年度役員等一覧 (2023年3月31日 時点)  
理事長：宮下純夫，副理事長：嵯峨山 積，専務理事：中川 充，岡村 聡，関根達夫，理事：石崎俊一，川村信人，君波和雄，松田義章，岡 孝雄，高波鐵夫，宮坂省吾，柳下文夫，監事：在田一則，加藤孝幸，幹事 (内規に基づき，理事長の指名により，正・副理事長および専務理事とともに幹事会を構成)：石崎俊一。「総合地質」編集委員会：宮下純夫 (委員長)，君波和雄，松田義章，岡 孝雄 (副委員長)，岡村 聡，柳下文夫。「HRCG通信」発行チーム：柳下文夫，高波鐵夫，岡村 聡

審議

第 1 号議案:2022 年度事業報告および決算 (資料 1 (2022年度活動のまとめ)，資料 2 (2022年度活動記録)，資料 3 (決算報告) 参照)

2022年度は理事長交代に伴う引き継ぎ作業のなかで，法務局への対応が設立以降なされていなかったことが判明し，その対応に多くの労力が割かれた (1号議案資料 1，資料 2)。

新型コロナはまだ収束していないが，昨年度後半からは多くの社会的活動が再開し，制限措置の解除もあって，公開講座も昨年の秋から再開にこぎつけた (1号議案資料 1)。研究セミナーや会員交流会に関しても，対面とオンラインとのハイブリッドで開催した。この方式は，準備や技術的問題は

あるものの、より参加しやすい環境となっていると思われる。以下、この1年間の活動内容に関しては、1号議案資料1にまとめてある。

別紙：2022 年度決算案、貸借対照表、財産目録、2022 年度事業毎決算（「総合地質」刊行事業、HRCG 通信発行 事業、研究セミナー事業、会員交流会事業）、2020 年度寄付・無償役務等提供者一覧

1- C：2022 年度監査報告

2023/04/9 に監事 在田一則と加藤孝幸により監査が行われ、正・副理事長が同席した。監査報告を別紙に示す。

第 2 号議案：2023年度事業計画および予算

2-A：2023 年度事業計画

2023 年度は新型コロナウイルスの第5類適用へ変化することに伴い、通常の活動へ復帰する。

1. 学術雑誌「総合地質」の出版事業

第7巻を作成し、国会図書館、産総研、道地質研、道立図書館、北海道博物館に納本・寄贈する。残部について希望者に実費で頒布する。

2. 研究セミナー・会員交流会・論文輪読会の開催事業：オンラインと対面とのハイブリッド方式で開催する。研究セミナーと会員交流会については二つを合わせた形式で3 回程度の開催を予定する。論文輪読会を不定期に開催する。

3. HRCG 通信：4 回の発行を予定する。

4. 会員向け事業の拡充：この間、増加した一般会員の要望に応える意味もあり、夏季に野外観察・巡検を主とする行事を企画・実施する。

5. 市民向け公開講座の開催事業：3回の講座を実施する。

6. 2022年度年報の作成：本総会の終了後、発行を予定する。

7. 横須賀高校の厚真での地盤災害にかんする研修事業を実施する。

8. その他

2-B：2023 年度予算案

上記 2023 年度事業計画に合わせ、別紙に示す予算案を提案する。収入の大半は会費によるものである。ほぼ30万円程度の会計規模となっている。

別紙：2023 年度予算案

第 3 号議案:2023 年度役員選任

正会員の中から以下の役員の選任を提案する。

理事 (13名)：石崎俊一、岩間唯史、川村信人、君波和雄、松田義章、宮坂省吾、宮下純夫、中川 充、岡 孝雄、岡村 聡、嵯峨山 積、関根達夫、高波鐵夫

監事 (2 名)：在田一則、加藤孝幸

なお、上記候補者以外の正会員が総会会場において立候補することを妨げるものではない。

## 1号議案資料1:2022年度の活動のまとめ

### 1. 新体制への移行に伴う引き継ぎ作業

1) 札幌市役所への書類提出は、詳細版活動報告にあるように一定の修正作業は必要だったが、比較的スムーズに進行した。

2) 法務局への対応では、様々な問題が明らかとなり、ほぼ二か月間、膨大な作業を行なった。主な問題は、本来総会毎に手続きが必要であったのが設立以降一度も法務局への報告作業を行わなかったために、過去に遡って多数の書類作成を行わざるを得なかったためである。提出した書類は以下のものである。

書類1：改印届け これは HRCG の公印は代表者が変わると使用者が変わるので届けが必要で、届け人（新理事長）の実印と印鑑証明が必要。

書類2. 事務所移転届け 事務所の移転決議を記した理事会議事録および署名捺印者が3名必要で、理事会メール審議を行ないそれも作成した。

書類3：理事長互選書：HRCG は定款で任期が1年なので任期ごとに必要だったが、設立以来行なっていなかったため、6年分をまとめて作成した。総会直後に理事会を開催したこととして理事会議事録を作成した。選出理事の就任承諾に関しては、全員重任の場合でも総会議事録と理事会議事録の提出が必須。また、理事長が交代する場合の議事録署名人は実印と印鑑証明が必要。

書類4：理事長辞任届（5月15日の総会時に辞任）。

書類5：過去の各年度における各理事の承認書諾書。

書類4は法務局での解釈と札幌市との法的解釈が理事の任期に関しては異なっているため、添付資料1の6月27日の理事会 ML へのメール参照。なお、法務局対応の詳細な経緯は添付資料2の7月7日の理事会 ML へのメール参照。今後の対応に関しては、当面は實際上支障がないが、市役所へ22年度報告や役員届けなどを届ける際に、市役所と相談の上、対応を決めると良いと思われる。

### 3) 新体制への移行に伴う諸事務手続き

- (1) 前事務所より新連絡事務所への HRCG の物品移動（6月2日）。
- (2) 札幌法務局より登記事項証明書発行（7月15日）
- (3) ゆうちょ銀行口座の住所変更完了（7月19日）
- (4) 札幌西税務署、北海道札幌道税事務所、札幌市中央市税事務所に変更届（8月4日）
- (5) 道民活動センターに登録申請書（変更）（8月4日）
- (6) ゆうちょ銀行口座の使用目的確認手続き（8月27日）
- (7) au 法人携帯の新規登録（8月29日）

### 2. 基本的運営体制などの変更について

1) 新体制での任務分担は以下のようである。

宮下：全体の統合総括、総合地質編集委員会

嵯峨山：アウトリーチ・会計（会計、公開講座、年報）

中川：広報および情報関連（HP、ニュースレターなど）、主たる事務所設置に伴う諸業務）

岡村：通信、総合地質編集委員

関根：総務（ズームの設定、日程調整、オンライン会合の際の技術担当など）

情報基盤担当理事：川村（HPの更新、MLの管理など）

通信・輪読会担当理事：高波

12月1日より新たに石崎理事を幹事に加えた。

2) 12部門の構成を検討し6部門へ整理・統合（6月13日第2回幹事会、6月14日理事会報告メール）。

3) 会員動向：新規入会6名（一般会員）、退会2名（正会員）（2022/1/1～総会時までには3名の一般会員と1名の正会員を加えると2022年には10名の増加）。2023年4月1日現在正会員18名、一般会員20名、学生院生会員1名、賛助会員1名 合計40名。

4) 入会申込書の簡素化（幹事会メール審議5月20日）とHPの入会申し込みページの大幅な簡素化を行なった。

5) HRCGの紹介パンフレットの更新（10月3日発注、300部印刷）、HPでも更新。

6) HRCGのホームページの更新

(1) 構成メンバー変更、ペイン追加、ページ構成整理（5月25日）

(2) 英語版・「総合地質」のページ整理、変更（6月20日、7月1日）

(3) 表示幅対応、会員専用ページ作成、トップページにスライドショー配置（7月1、12日）

7) 情報基盤関係の改善

(1) 10のMLを4つへ整理・統合（幹事会でのメール審議、5月22日）。

(2) ニュースレターの配布先変更（除会員）とHTML形式での配信、メールマガジンへの登録・解除の方法をofficeアドレスへの連絡で変更（6月5日）。

(3) HRCG個人アカウント（メールボックス含む）数名を除き廃止。

### 3. 実行した事業

#### 1) 研究セミナー・会員交流会・輪読会

(0) 特別講演会：5月15日13:30～15:05、エルプラザ（会場参加者24名、オンライン参加者2名）。

(1) 第17回研究セミナー：7月30日13:30～15:30、かでの2.7（ハイブリット方式：会場参加者12名、オンライン参加者2名）。

(2) 第4回論文輪読会：7月17日、エルプラザ（参加者8名、内：会場参加者3名）。

(3) 第18回研究セミナー・第7回会員交流会：2023年3月18日13:30～15:30、エルプラザ環境研修室2、会場参加者19名、オンライン参加者4名。

#### 2) 公開講座

(1) 第9回公開講座（10月15日）：変動する地球：日本海東縁の地震帯―迫り来る地震への備え―、講師 宮下純夫（かでの2・7、受講者34名）。

(2) 第10回公開講座（12月3日）：2018年胆振東部地震の地盤変動の全容。講師 岡孝雄（かでの2・7、受講者31名）。

3) 総合地質第6巻：総説、論説、報告資料など9件掲載、10月30日発行。

4) HRCG 通信の発行：第7号（5月30日）、第8号（9月9日）、第9号（12月13日）、第10号（3

月29日).

5) ニュースレター：No58~63 まで6回発行

6) 9月25日 会員有志による現地見学会：壮瞥周辺現地見学会（関根・岡・小林ほか）

#### 4. 市民からの問い合わせなど

1) 6月16日，一般市民から岩石の鑑定に関する問い合わせ：宮下対応

2) 8月30日近畿日本ツーリストより横須賀高校の修学旅行による厚真の土砂災害に関する研修についての問い合わせ。宮下対応後，関根・岡会員が引き継ぐ。2023年5月22日にズームによる学習会予定，10月17日に現地で見学研修。

3) 11月9日，岩石の活用に関する相談：嵯峨山対応。

4) 11月16日，映像制作プロダクション（有）サンタナより空沼岳について問合せ，17日に返答（幹事会で対応）。

#### 5. その他

1) 在籍証明書の発行：12月23日の幹事会において以下の内規作成を承認し，理事会へ報告することとした。

在籍証明書の発行に関する内規案

1) 本研究センターは，本センターへの在籍証明書の発行を行うことができる。

2) 在籍証明書の発行を希望する会員は，必要事項（目的，生年月日など）を記し，理事長へ申請する。

3) 申請があった場合，理事長は速やかに在籍証明書を発行する。

2) 無償役員時間と会計処理について：第7回，第8回の幹事会において，業務の簡素化と実際の会計規模などの関連について検討し，翌年度からは無償役員時間は集計して総会議案に掲載するが，会計処理には含めないこととした。総会前の理事会に諮り，2023年度総会において確認する。

#### 添付資料1(2022年6月27日の理事長から理事会へのメールの概要)

法務局見解：年度の変更は定款に書かれていて，それ自体は問題ない。ただしそれは事業年度の変更で，役員任期については変更されていないので，設立当初の10月から9月までの任期変更がなされていないと解釈される。事業年度は事業年度として，役員は10月に改選するためには2回の総会を開く必要がある。現定款では任期の先送り延長(次の総会が開かれるまでは延長される)規定が書かれているので，法務局からみると我々の任期は10月～9月の任期で，半年先のことをあらかじめ決めてやっていると言う形で処理しているのに対し，札幌市では役員変更届けがそのまま受理されていると言う事態となっている。この解決のためには札幌市と対応を協議しなければならないが，当面の支障はない。

## 添付資料2:法務局対応の経過(2022年7月7日の理事長から理事会へのメールの概要)

5月17日 札幌市役所役員変更届など

5月23日 札幌法務局第1回目訪問し最初の書類提出:総会議事録署名の完了, 主たる事務所移転に関する理事会メール審議

5月31日 札幌法務局第2回目 書類提出 事態が明らかとなる 理事会へ報告メール1. 総会議事録署名付きの収集・整理

6月6日 法務局との電話相談(要予約). 理事会へ報告メール2:法務局との相談により. 理事長交代時の議事録署名人には実印と印鑑証明が必要なこと, 過去 5年間にわたって理事長選出の理事会議事録もしくは理事互選書の作成が必要など・・・

6月6日 理事会へ報告メール3:細かな不明点の整理(実印や印鑑証明などに関して).

6月7日 法務局との電話相談, 理事会へ報告メール4.

6月9日 実印押印統一行動

6月10日 法務局(3)へ書類提出(3種類14ページ+資料(定款など))理事会へ報告メール5 (提出書類の概要など)

6月22日 法務局より電話(一旦取り下げた上での再申請:総会議事録の原本が必要, 事業年度と役員の任期との不整合, 辞任 届が必要など). 理事会へ報告メール6

6月27日 法務局とののはじめての面談(4) (6月10日提出書類の取り下げ手続き及び書類の細部にわたる整備(主に日付など に関して)の指摘, 理事会へ報告メール7

6月28日 法務局へ再度の書類提出(5), 理事会へ報告メール8 , 前田前理事長へ経緯と辞任届などの件について連絡

7月7日 法務局から電話 追加の書類提出求められる 作成後法務局へ提出(6). 理事会へ報告メール8(本メール)

残された問題点:事業年度と役員任期との不整合をどうするか. 方策A: 現状のまま放置する(総会文書に役員の任期に関する但し書きを書くことによって定款上は問題なくなる:総会が開催されるまで任期が延長される規定となっているため) 方策B: 札幌市に法務局からの指摘を伝え, 定款に役員任期に関しても事業年度と整合性が取れるように変更する. (\*当面方策Bで行くこととする)

不明点:定款変更の際のマニュアルをみると, 法務局へも届けるように書かれているにも関わらず, 法務局ではその必要がないといている.

## 1号議案資料2：2022年度活動記録

- 4/08 幹事会 オンライン開催
- 4/10 フジテレビ 目覚まし 8 担当者から問い合わせ
- 4/11 入会（正会員）申請受付・入会承認
- 4/14 入会（一般会員）申請受付・入会承認
- 4/15 新加入会員の情報基盤利用設定作業
- 4/17 監査
- 4/19 幹事懇談会
- 4/21 法人税（法人道民税均等割，法人市民税均等割）申告および減免申請書提出
- 4/25 幹事会 オンライン開催
- 4/29 幹事会 オンライン開催
- 4/30 通常総会招集
- 5/9 幹事会 オンライン開催
- 5/10 通常総会議案書・委任状・表決権行使通知書等配布（オンライン+ 郵送）
- 
- 5/15 2022 年度通常総会・特別講演会開催 13：00～16：30
- 5/16 札幌市役所に書類提出（前理事長作成書類一式および新役員名簿，役員変更届）
- 5/17 一般会員 1 名入会
- 5/20 一般会員 2 名入会：入会申込書の簡素化
- 5/20 10 の ML を 4 つへ整理・統合
- 5/23 第 1 回オンライン幹事会 13：00～15：10
- 5/25 理事長交代手続きのため法務局訪問
- 5/25 ホームページを全面変更（構成メンバー変更，ペイン追加，ページ整理など）
- 5/26 一般会員 1 名入会
- 5/30 HRCG 通信第 7 号発行
- 5/30 主たる事務所の変更に関する理事会メール審議
- 5/31 正会員 1 名退会
- 5/31 理事会へ法務局との対応報告（過去 6 年間の理事の登記，理事承認承諾書，総会議事録などの提出）
- 6/3 HRCG 通信第 7 号発送
- 6/4 ニュースレターの配布先変更（除会員）
- 6/5 ニュースレター（no. 58）発行：HTML での送信
- 6/5 メールマガジンへの登録・解除の方法の変更
- 6/5 会員宛理事長就任挨拶
- 6/6 理事会へ法務局との折衝報告（理事長選出の理事会互選書の作成など）
- 6/10 札幌法務局へ関係書類提出
- 6/13 第 2 回オンライン幹事会 13：00～15：10（12 部門から 6 部門への整理・統合など）
- 6/14 理事会へ部門の整理・統合に関する報告

10/23 Xserver アカウント契約更新  
11/1 一般会員 1 名入会  
11/5 「総合地質」6 巻 (20 冊) 印刷受領  
11/7～10 国立国会図書館および地質調査総合センター、北海道立図書館、北海道博物館に「総合地質」6 巻を寄贈  
11/9 相談電話 (岩石活用: 久保田氏)  
11/16 映像制作プロダクション (有) サンタナより空沼岳について問合せ  
11/16 道総研エネルギー・環境・地質研究所に「総合地質」6 巻を寄贈  
11/17 (有) サンタナに空沼岳について返答  
11/20 第 6 回オンライン幹事会 10:00～12:00  
11/27 ニュースレター (no. 61) 発行  
12/1 新幹事就任 (石崎理事)  
12/3 ML の登録再設定  
12/3 第 10 回公開講座実施 (かでの 2・7, 受講者 31 名)  
12/6 一般会員 1 名入会  
12/6 近畿日本ツーリストに第 10 回公開講座資料を送信  
12/8 札幌市, 札幌市教育委員会, 北海道地質調査業協会に第 10 回公開講座結果を報告  
12/13 HRCG 通信第 9 号発行  
12/15 HRCG 個人アカウント (メールボックス含む) 数名を除き廃止  
12/20 在籍証明書の発行 (川村会員)  
12/23 第 7 回幹事会 メール審議 (在籍証明書の発行に関する内規案の策定)  
12/26 ニュースレター (no. 62) 発行  
12/30 理事長挨拶「2023 年を迎えるにあたって」  
2023/1/14 札幌市市民活動サポートセンター市民団体登録更新書を提出  
1/22 第 8 回オンライン回幹事会 13:30～15:30  
2/13 第 18 回研究セミナー・第 7 回会員交流会開催の案内メール  
2/22 第 9 回オンライン幹事会 13:30～15:30  
3/11 エルプラザ 4 階ロッカーより荷物搬出, 2023 年度エルプラザ 2 階ロッカー使用申込  
3/13 ニュースレター (no. 63) 発行  
3/18 第 18 回研究セミナー・第 7 回会員交流会 13:30～16:00, エルプラザ環境研修室 2, 会場参加者 19 名, オンライン参加者 4 名  
3/29 HRCG 通信第 10 号発行  
4/9 監査  
4/10 第 10 回オンライン幹事会 10:00～12:00  
4/30～5/5 理事会 (メール審議)  
5/7 第 11 回オンライン幹事会 10:00～12:00  
5/13 2023 年度通常総会・特別講演会 (エルプラザ, 13:00～16:30)



6/16 市民より岩石鑑定依頼  
6/20 ホームページのリニューアル（ページ構成・英語版の整理，変更など）  
6/21 札幌法務局より連絡：書類の一旦取り下げ（定款上の任期に関する法的取り扱い，辞任届の書類作成など）  
6/28 札幌法務局へ書類再提出  
7/1 ホームページ更新（表示幅対応，「総合地質」のページ整理，変更など）  
7/7 法務局へ追加書類提出。（この間の詳細な経緯と問題点などの整理：資料1，資料2）  
7/12 ホームページ更新（トップページにスライドショー配置など）  
7/15 札幌法務局より登記事項証明書発行  
7/17 第4回論文輪読会（参加者8名，内：会場参加者3名）  
7/19 ゆうちょ銀行口座の住所変更完了  
7/20 郵便局に事務所移転に伴う転送手続き届け出  
7/20 2021年度年報を発行  
7/25 第3回オンライン幹事会 13：00～15：00  
7/30 第17回研究セミナー 13：30～15：30 ハイブリット方式（会場参加者12名，オンライン参加者2名）  
8/4 札幌西税務署，北海道札幌道税事務所，札幌市中央市税事務所に変更届郵送  
8/4 道民活動センターに登録申請書（変更）をファックス  
8/4 第9回公開講座を道民カレッジ連携講座に申請，承認される（8日）  
8/9 札幌市と札幌市教育委員会に第9回公開講座後援申請書を郵送  
8/10 北海道地質調査業協会に第9回公開講座後援申請書をメール送信  
8/22 札幌市および札幌市教育委員会より後援承諾通知書到着  
8/27 ゆうちょ銀行口座の使用目的確認手続き完了  
8/29 au法人携帯の新規登録完了  
8/30 近畿ツーリスト（杉本氏）よりSSH高校研修の依頼メール  
9/7 北海道地質調査業協会より後援承諾書到着  
9/9 HRCG通信第8号発行  
9/9 第4回オンライン幹事会 13：30～15：30  
9/12 さぼーとほっと基金助成事業に関するアンケート回答を提出  
9/14 「まんまる新聞」に第9回公開講座記事を依頼  
9/15 第10回公開講座を道民カレッジ連携講座として承認  
9/16 ニュースレター（no.59）発行  
9/16 北海道地質調査業協会に第10回公開講座後援申請書をメール送信  
9/20 札幌市と札幌市教育委員会に第10回公開講座後援申請書を郵送  
9/25 会員有志による壮瞥周辺現地見学会（関根・岡・小林）  
10/3 プリントパックにHRCG紹介パンフレット（300枚）の印刷発注  
10/15 第9回公開講座実施（かでの2・7，受講者34名）  
10/18 第5回オンライン幹事会 13：30～15：00  
10/19 札幌市，札幌市教育委員会，北海道地質調査業協会へ第9回公開講座結果を報告

10/23 Xserver アカウント契約更新  
11/1 一般会員 1 名入会  
11/5 「総合地質」6 巻 (20 冊) 印刷受領  
11/7～10 国立国会図書館および地質調査総合センター、北海道立図書館、北海道博物館に「総合地質」6 巻を寄贈  
11/9 相談電話 (岩石活用: 久保田氏)  
11/16 映像制作プロダクション (有) サンタナより空沼岳について問合せ  
11/16 道総研エネルギー・環境・地質研究所に「総合地質」6 巻を寄贈  
11/17 (有) サンタナに空沼岳について返答  
11/20 第 6 回オンライン幹事会 10:00～12:00  
11/27 ニュースレター (no. 61) 発行  
12/1 新幹事就任 (石崎理事)  
12/3 ML の登録再設定  
12/3 第 10 回公開講座実施 (かでの 2・7, 受講者 31 名)  
12/6 一般会員 1 名入会  
12/6 近畿日本ツーリストに第 10 回公開講座資料を送信  
12/8 札幌市, 札幌市教育委員会, 北海道地質調査業協会に第 10 回公開講座結果を報告  
12/13 HRCG 通信第 9 号発行  
12/15 HRCG 個人アカウント (メールボックス含む) 数名を除き廃止  
12/20 在籍証明書の発行 (川村会員)  
12/23 第 7 回幹事会 メール審議 (在籍証明書の発行に関する内規案の策定)  
12/26 ニュースレター (no. 62) 発行  
12/30 理事長挨拶「2023 年を迎えるにあたって」  
2023/1/14 札幌市市民活動サポートセンター市民団体登録更新書を提出  
1/22 第 8 回オンライン回幹事会 13:30～15:30  
2/13 第 18 回研究セミナー・第 7 回会員交流会開催の案内メール  
2/22 第 9 回オンライン幹事会 13:30～15:30  
3/11 エルプラザ 4 階ロッカーより荷物搬出, 2023 年度エルプラザ 2 階ロッカー使用申込  
3/13 ニュースレター (no. 63) 発行  
3/18 第 18 回研究セミナー・第 7 回会員交流会 13:30～16:00, エルプラザ環境研修室 2, 会場参加者 19 名, オンライン参加者 4 名  
3/29 HRCG 通信第 10 号発行  
4/9 監査  
4/10 第 10 回オンライン幹事会 10:00～12:00  
4/30～5/5 理事会 (メール審議)  
5/7 第 11 回オンライン幹事会 10:00～12:00  
5/13 2023 年度通常総会・特別講演会 (エルプラザ, 13:00～16:30)

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター  
2022年度決算案

2022年4月1日～2023年3月31日（単位：円）

収入				
I. 経常収益				
科目	予算	決算	差額	備考
1. 受取会費				
正会員受取会費	108,000	108,000	0	20名, 6,000円×18名（前年度納入済 2名）
一般会員受取会費	24,000	37,000	△ 13,000	20名, 2,000円×18名+1,000円（半年分1名）：内2,000円（20年度分 1名），未納者2名。
賛助会員受取会費	10,000	10,000	0	1名
院生・学生会員受取会費	0	0	0	1名, 前年度納入済
受取会費合計	142,000	155,000	△ 13,000	
2. 受取寄付金				
受取寄付金	25,000	15,720	9,280	内訳別紙
無償役務受入評価益	1,700,000	754,580	945,420	内訳別紙（管理費区分相当 442,647円, 事業費区分相当 311,933円）
無償施設・機器等受入評価益	0	0	0	
受取寄付金合計	1,725,000	770,300	954,700	
3. 受取助成金等				
受取助成金	0	0	0	
受取補助金	0	0	0	
受取助成金等合計	0	0	0	
4. 事業収益				
総合地質出版事業	15,000	46,500	△ 31,500	総合地質23冊頒布（2,000円×14冊no.6, 2,500円×5冊no.5, 1,500円×4冊no.1-4）
研究セミナー開催事業	0	0	0	
公開講座実施事業	60,000	54,500	5,500	
公開講座資料販売	2,000	0	2,000	
アウトリーチ事業	0	0	0	
事業収益合計	77,000	101,000	△ 24,000	
5. その他収益				
受取利息	4	4	0	預金利息

雑収益	1,096	0	1,096	
その他収益合計	1,100	4	1,096	
経常収益合計	1,945,100	1,026,304	918,796	

支出				
II. 経常費用				
科目	予算	決算	差額	備考
1. 事業費				
(1) 人件費				
給与	0	0	0	計上せず = 職員を雇用せず
謝金	5,000	5,000	0	特別講演会講師代
役務報償費	0	0	0	
無償役務評価費用	300,000	311,933	△ 11,933	
人件費合計	305,000	316,933	△ 11,933	
(2) その他経費				
講義準備・資料作製準備必要経費	29,000	24,000	5,000	第9回・第10回公開講座担当者（12,000円×2回）
会場費	18,000	30,600	△ 12,600	第17回セミナー（3,700円，7月），第9・10・11・12回公開講座（4,700円×4回），第13回公開講座（5,500円），第18回セミナー・第7回会員交流会（2,600円，3月）
旅費・交通費	1,000	3,390	△ 2,390	
広報・宣伝費	1,000	0	1,000	
通信費	15,000	10,680	4,320	総合地質；740円（370円×2），公開講座チラシ：4,300円，第7号ほかHRCG通信；3,860円，理事長挨拶・研究セミナー案内ほか；1,260円，札幌市・教育委員会：520円
印刷・製本費	48,000	57,920	△ 9,920	総合地質 vol. 6（50,380円，102 p.，20冊），第9回公開講座チラシ（3,900円），第10回公開講座チラシ（3,640円）
事務用品費	1,000	0	1,000	
消耗品費	5,000	0	5,000	
支払等手数料	800	660	140	口座振込（プリントバック；220円，三誠社；440円）

事業雑経費	11,000	25,843	△ 14,843	特別講演会：wi-fi, 2,376円, 第17回研究セミナー：wi-fi・電気・スクリーン, 2,627円, 公開講座<9回：電気・スクリーン, 440円, 10回：電気・スクリーン・マイク・音響装置等, 2,430円, 11・12回：, 2,790円×2回, 13回：1,690円>, 18回セミナー：wi-fi, 700円, 総合地質編集：10,000円
,	0	0	0	
無償施設・機器等受入評価費用	0	0	0	
その他経費合計	129,800	153,093	△ 23,293	
事業費合計	434,800	470,026	△ 35,226	
2. 管理費				
(1) 人件費				
役員報酬	0	0	0	計上せず
給与	0	0	0	計上せず = 職員を雇用せず
謝金	5,000	0	5,000	事務作業補助, 会計作業補助, ホームページ更新作業補助など
役務報償費	0	0		
無償役務評価費用	1,400,000	442,647	957,353	内訳別紙
人件費合計	1,405,000	442,647	962,353	
(2) その他経費				
事務所費	0	0	0	
会議・会場費	3,000	2,600	400	2023年総会用（エルプラザ）
旅費・交通費	8,000	8,870	△ 870	法務局手続作業
広報・宣伝費	3,000	0	3,000	
通信費	40,000	39,418	582	インターネット環境：17,402円（サーバーレンタル：13,200円, ドメイン更新：4,202円）, 携帯電話：19,500円, 郵送費：2,516円
印刷・製本費	1,000	5,160	△ 4,160	パンフレット印刷代（300冊）
事務用品費	3,000	9,360	△ 6,360	ポータブルHDD
消耗品費	3,000	600	2,400	登記事項証明書印紙代
支払等手数料	500	0	500	
管理雑経費	15,000	12,500	2,500	ロッカー代, 22年度：7,700円（700円×11ヶ月）, 23年度：4,800円（400円×12ヶ月）
管理予備費	1,200	5,000	△ 3,800	情報基盤管理手当（担当者）
管理事務作業環境提供	3,600	3,600	0	理事長（200円×12ヶ月）, 副理事長（100円×12ヶ月）
事務作業経費	24,000			
無償施設・機器等受入評価費用	0	0	0	

その他経費合計	105,300	87,108	18,192	
管理費合計	1,510,300	529,755	980,545	
経常費用合計	1,945,100	999,781	945,319	事業費合計+管理費合計

科目	予算	決算	差額	備考
当期経常増減額	0	26,523	△ 26,523	経常収益合計-経常費用合計

### III. 経常外収益

科目	予算	決算	差額	備考
経常外収益	0	0	0	
経常外収益合計	0	0	0	

### IV. 経常外費用

科目	予算	決算	差額	備考
経常外費用	0	0	0	
経常外費用合計	0	0	0	

科目	予算	決算	差額	備考
当期経常外増減額	0	0	0	

科目	予算	決算	差額	備考
税引前当期正味財産増減額	0	26,523	△ 26,523	
法人税	0	0	0	免除予定
法人道民税均等割	0	0	0	20,000円. 免除予定
法人市民税均等割	0	0	0	50,000円. 免除予定
前期繰越正味財産額	477,017	477,017	0	
次期繰越正味財産額	477,017	503,540	△ 26,523	前期繰越正味財産額 477,017円+当期財産正味増減額 26,523円 = 503,540円

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター  
2023年度予算案

2023年4月1日～2024年3月31日（単位：円）

収入				
I. 経常収益				
科目	予算	前年度実績	差額	備考
1. 受取会費				
正会員受取会費	108,000	108,000	0	6,000円×18名 会員：18名
一般会員受取会費	43,000	37,000	6,000	2,000円×21名+1,000円×1名（前年度納入：1名，前年度未納：3名） 会員：20名
賛助会員受取会費	10,000	10,000	0	10,000円×1名 会員：1名
院生・学生会員受取会費	1,000	0	0	1,000円×1名 会員：1名
受取会費合計	162,000	155,000	7,000	
2. 受取寄付金				
受取寄付金	20,000	15,720	4,280	5,000円×4人
受取寄付金合計	20,000	15,720	4,280	
3. 受取助成金等				
受取助成金	0	0	0	
受取補助金	0	0	0	
受取助成金等合計	0	0	0	
4. 事業収益				
総合地質出版事業	15,000	46,500	△ 31,500	総合地質10冊頒布
研究セミナー・会員交流会開催事業	0	0	0	
公開講座実施事業	97,500	54,500	43,000	(30人×1,000円+5人×500円)×3回
公開講座資料販売	3,000	0	3,000	500円×2冊×3回
アウトリーチ事業	0	0	0	
事業収益合計	115,500	101,000	14,500	
5. その他収益				
受取利息	4	4	0	預金利息
雑収益	1,000	0	1,000	
その他収益合計	1,004	4	1,000	
経常収益合計	298,504	271,724	26,780	

支出				
II. 経常費用				
科目	予算	前年度実績	差額	備考
1. 事業費				
(1) 人件費				
給与	0	0	0	計上せず
謝金	0	5,000	△ 5,000	

役務報償費	0	0	0	
人件費合計	0	5,000	△ 5,000	
(2) その他経費				
講義準備・資料作成準備必要経費	36,000	24,000	12,000	公開講座（12,000円×3回）
会場費	24,500	30,600	△ 6,100	公開講座・研究セミナー・会員交流会：7回×3,500円
旅費・交通費	3,500	3,390	110	
広報・宣伝費	1,000	0	1,000	
通信費	15,000	10,680	4,320	郵送料（HRCG通信など）
印刷・製本費	72,000	57,920	14,080	公開講座チラシ印刷代（4,000円×3回），総合地質（vol.7）20冊印刷：60,000円
事務用品費	1,000	0	1,000	
消耗品費	5,000	0	5,000	HRCG通信等の用紙代，プリンターインク・トナー代など
支払等手数料	660	660	0	送金手数料
事業雑経費	30,000	25,843	4,157	「総合地質」編集雑費（10,000円），スクリーン代・マイク使用料・wi-fi代など（20,000円）
事業予備費	0	0	0	計上せず
その他経費合計	188,660	153,093	35,567	
事業費合計	188,660	158,093	30,567	
2. 管理費				
(1) 人件費				
役員報酬	0	0	0	計上せず
給与	0	0	0	計上せず
謝金	5,000	0	5,000	事務作業補助，会計作業補助，ホームページ更新作業補助など
役務報償費	0	0	0	
人件費合計	5,000	0	5,000	
(2) その他経費				
事務所費	0	0	0	
会議・会場費	3,500	2,600	900	2024年通常総会会場費など
旅費・交通費	8,000	8,870	△ 870	幹事会片道交通費（3回分）
広報・宣伝費	3,000	0	3,000	名刺作成など
通信費	40,000	39,418	582	サーバーレンタル更新+ドメイン保護経費（20,000円），郵送料，携帯電話代（1,500円/月），Zoom account代（20,000円）など
印刷・製本費	5,000	5,160	△ 160	資料など印刷
事務用品費	3,000	9,360	△ 6,360	封筒，領収書，クリアファイル，名刺用紙など
消耗品費	3,244	600	2,644	用紙，プリンターインク，電池など
支払等手数料	500	0	500	
管理雑経費	6,000	12,500	△ 6,500	ロッカー使用代：400円×12ヶ月（5～3月），スクリーン代ほか
管理予備費	5,000	5,000	0	
管理事務作業環境提供	3,600	3,600	0	理事長：200円×12ヶ月，副理事長：100円×12ヶ月。
事務作業経費	24,000	0	24,000	2,000円×12ヶ月。
その他経費合計	104,844	87,108	17,736	
管理費合計	109,844	87,108	22,736	



経常費用合計	298,504	245,201	53,303	事業費合計 + 管理費合計
--------	---------	---------	--------	---------------

科目	予算	前年度実績	差額	備考
当期経常増減額	0	26,523	△ 26,523	経常収益合計 - 経常費用合計

III. 経常外収益				
科目	予算	前年度実績	差額	備考
経常外収益	0	0	0	
経常外収益合計	0	0	0	

IV. 経常外費用				
科目	予算	前年度実績	差額	備考
経常外費用	0	0	0	
経常外費用合計	0	0	0	

科目	予算	前年度実績	差額	備考
当期経常外増減額	0	0	0	

科目	予算	前年度実績	差額	備考
税引前当期正味財産増減額	0	26,523	△ 26,523	
法人税	0	0	0	課税なしを想定
法人道民税均等割	0	0	0	免除 (20,000円) を想定
法人市民税均等割	0	0	0	免除 (50,000円) を想定
前期繰越正味財産額	503,540	477,017	26,523	
次期繰越正味財産額	503,540	503,540	0	

# 監事監査報告

2023年4月9日

特定非営利活動法人  
北海道総合地質学研究センター  
理事長 宮下 純夫 殿

特定非営利活動法人  
北海道総合地質学研究センター

監事 在田 一則



監事 加藤 孝幸



私たちは、2022年4月1日から2023年3月31日までの会計及び業務の監査を行い、次の通り報告します。

## 1 監査の概要

(1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。

(2) 業務監査について、理事長及び副理事長から業務の内容を聴取し、必要と思われる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討した。

## 2 監査の意見

(1) 貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の收支状況及び財産状態を正しく反映しているものと認める。

(2) 事業報告の内容は真実であると認める。

(3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する事実はないと認める。

## 総合地質投稿規定の一部改正

現在の投稿規定の最後に以下を追加する.

附則：ページ制限について

1. 最大ページ数は刷り上がりで 20 ページとする.
2. 20 ページを超える場合は, 1 ページにつき 2 千円の超過料金を支払う.
3. 本附則は 2023 年 4 月 1 日から施行する.

現在の投稿規定の 4 項の a の提出先：[journaledit@hrcg.jp](mailto:journaledit@hrcg.jp) を以下のように変更する.  
編集委員長もしくは [office@hrcg.jp](mailto:office@hrcg.jp)